

[部会の主な意見]

- 1 離島の精神医療について、へき地医療部会だけでなく精神疾患分野でも計画に記載すべき。
- 2 精神科受診待機時間の長さについて、今後の計画に記載できないか。
- 3 オンライン診療の活用も県として推進するよう取り組めないか。

<p>施策(取組)とアウトカムの整合性 (セオリー評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点病院の整備、DPAT先遣隊の整備と中間アウトカムの「精神疾患外来患者数の増」との整合性がない。独立して施策、アウトカムを設定すべきである。 ・「発症予防」のタグに「早期発見」を追加。(早期発見の内容となっている箇所があるため)
<p>施策(取組)の実施状況 (プロセス評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所・センターで例年、実施・計画されている精神保健福祉相談、研修会等、概ね順調に実施されている。 ・災害拠点病院、DPAT先遣隊整備についてR8年度中の整備にむけて調整中。
<p>施策(取組)がアウトカムに及ぼす効果 (インパクト評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施策に対する中間アウトカム、分野アウトカムは概ね改善の成果を出している。 ・災害拠点病院の整備、DPAT先遣隊の整備の個別施策が中間アウトカムに効果を及ぼしているとはいいがたい。
<p>今後の取組方針 (総合評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取組は継続しながら、離島医療、精神科受診待機時間の短縮、児童精神科医療等の数値で評価しづらい取り組みについて、中間見直し、次期計画に向けて検討していく。